

かくだい も じ ばん  
拡大文字・ルビ付き版

ぶんしょう いまばりしとも い しゃかい  
この文 章は、「今治市共に生きる社会づく

じょうれい げんこうぶぶん へんしゅう  
り条 例」リーフレットの原稿部分を編 集

も じ おお  
し、文 字を大きくしたものです。

ひょうし  
(表紙)

みんなが<sup>あんしん</sup>安心して<sup>く</sup>暮らすことができる

しゃかい  
社会へ

いまばりしとも い <sup>しゃかい</sup>社会<sup>じょうれい</sup>づくり条 例

ができました

き か <sup>ちか</sup>近くにあるマークは、<sup>おんせい</sup>音声コー

ドです。スマートフォン<sup>せんよう</sup>専用アプリ「Uni-

<sup>ぼ い す</sup>Voice」などで<sup>よ と</sup>読み取ると、<sup>ないよう</sup>内容を<sup>おんせい</sup>音声で<sup>き</sup>聞

くことができます。

なかめん ひだりがわ  
(中面の左側)

いまばりしとも い しゃかい じょうれい  
「今治市共に生きる社会づくり条例」と  
は？

ぜんぶん いまばりし め ざ きょうせいしゃかい  
○前文 ～今治市の目指す共生社会～

わたし ねんれい せいべつ せいてきしこう せいじにん  
私たちの年齢、性別、性的指向や性自認、

しょう う む およ こくせき ぶんかてきはいけい  
障がいの有無及び国籍や文化的背景など

こと ひと  
は、それぞれ異なります。すべての人が

ひとり たようせい そんちょう たが  
一人ひとりの多様性を尊重し、互いにそ

ひと みと あ しょうがい  
の人らしさを認め合い、生涯にわたって

あんしん く しゃかい  
安心して暮らすことができる社会が、

いまばりし め ぎ きょうせいしゃかい  
今治市の目指す共生社会です。

ほんし へいせい ねん しちょうそん がっぺい  
本市は、平成17年に12の市町村が合併

あたら いまばりし たんじょう  
し、新しい今治市として誕生しました。

れいわ ねん がっぺい しゅうねん むか  
令和7年に合併20周年を迎えるにあたり、

あら いまばり れきし きざ しゅっぱつてん  
新たな今治の歴史を刻む出発点として、

いまばり ねん  
「ふるさと今治」がこれからの20年、さら

ねんご す つづ  
には100年後も「ずっと住み続けたいまち」

わたし いちがん  
となるよう、私たちは一丸となって、

きょうせいしゃかい じつげん む あゆ つづ  
共生社会の実現に向けて歩み続けること

けつい じょうれい せいてい  
を決意し、この条例を制定します。

ぜんぶん  
○前文「やさしい日本語」訳

わたし ねんれい せいべつ せいてきしこう せいじにん  
私 たちは、年齢、性別、性的指向、性自認、

しょう こくせき ぶんか ちが  
障 がいがあるかないか、国籍、文化の 違

いなど、それぞれ ちが  
違います。

ひと たようせい たいせつ  
すべての人が 多様性を 大切にします。

たが ひと みと  
お互いに その人の よいところを 認めま

す。ずっと あんしん く  
ずっと 安心して 暮らせます。この 3

いまばりし もくひょう きょうせいしゃかい  
つが 今治市の 目標とする 共生社会で  
す。

いまばりし ねん し まち  
今治市は、2005年に 12 の 市や 町や

むら<sup>ひと</sup> 村が 一つ になり、 あたら<sup>いまばりし</sup> 新 しい 今 治 市 に な

りました。 2025<sup>ねん</sup>年 で 20<sup>ねん</sup>年 が た<sup>た</sup> 経 ち ま す。

2025<sup>ねん</sup>年 は、 つぎ<sup>あた</sup>の 新 しい 今 治 の はじ<sup>はじ</sup> 始 ま り

です。「ふるさと<sup>いまばり</sup>今 治」が、 20<sup>ねん</sup>年 後 も、 100

年 後 も「ず<sup>す</sup>つと 住 み つづ<sup>つづ</sup> 続 け た い ま ち」に な る

よう に、 わたし<sup>わたし</sup> 私 た ち は、 み ん な で いっしょ<sup>いっしょ</sup> 一 緒 に きょうせい<sup>きょうせい</sup> 共 生

しゃかい<sup>しゃかい</sup> 社 会 を つく<sup>つく</sup> 作 る こ と を き<sup>き</sup> 決 め ま し た。 そ の た

め に、 こ の じょうれい<sup>じょうれい</sup> 条 例 を つく<sup>つく</sup> 作 り ま し た。

ことば<sup>ことば</sup> 言 葉 の せつめい<sup>せつめい</sup> 説 明

せい<sup>せい</sup>てきし<sup>てきし</sup>こう<sup>こう</sup> 性 的 指 向 ・ ・ ・ す<sup>す</sup> 好 き に な る 人、 ひと<sup>ひと</sup> す<sup>す</sup> 好 き な 人 ひと<sup>ひと</sup>

## この の好み

- ・ <sup>せいじ</sup> <sup>にん</sup> 性自認 ・ ・ ・ <sup>じぶん</sup> <sup>せいべつ</sup> 自分の性別、<sup>じぶん</sup> <sup>かん</sup> 自分の感じる

## <sup>せいべつ</sup> 性別

- ・ <sup>こくせき</sup> 国籍 ・ ・ ・ <sup>くに</sup> <sup>ひと</sup> どの国の人か

- ・ <sup>たようせい</sup> 多様性 ・ ・ ・ <sup>ちが</sup> いろいろな違い、いろいろ

## なこと

- ・ <sup>じょうれい</sup> 条例 ・ ・ ・ <sup>き</sup> 決まり

やさしい<sup>にほんご</sup>日本語訳監修：

HAKUNA MATATA

なかめん みぎがわ  
(中面の右側)

○ <sup>き ほんりねん</sup>基本理念 <sup>きょうせいしゃかい</sup>共生社会 <sup>め ざ</sup>を目指すために

<sup>たいせつ</sup>  
大切なこと

<sup>いまばりし</sup>今治市 <sup>しみん</sup>と市民 <sup>じ ぎょうしゃ</sup>と事業者 <sup>たが</sup>が、お互いに

<sup>きょうりよく</sup>協力しながら、<sup>きょうせいしゃかい</sup>共生社会 <sup>じつげん</sup>の実現 <sup>め ざ</sup>を目指  
します。

<sup>こせい</sup> <sup>そんちょう</sup>  
・個性の尊重

<sup>ひと</sup>すべての人が、それぞれの<sup>たようせい</sup>多様性 <sup>も</sup>を持つ人 <sup>ひと</sup>

<sup>たいせつ</sup>  
として大切にされること。

<sup>ささ</sup> <sup>あ</sup>・<sup>たす</sup> <sup>あ</sup>  
・支え合い・助け合い

すべての人が、お互いを認め合って、支え合って、助け合うことで、安心して生活ができること。

・社会参画機会の確保

すべての人が、自分のやりたい方法で、社会のたくさんのことに参画（※）することができるようになること。

（※）参画・・・参加するだけではなく、

計画や意見を出して、一緒に進めること

○<sup>き ほん て き し さ く</sup>基本的施策 <sup>き ょ う せ い し ゃ か い</sup>共生社会<sup>め ざ</sup>を目指すために

<sup>い ま ば り し と く</sup>今治市が取り組むこと

・<sup>り か い ふ か</sup>理解を深める<sup>き ょ う せ い い し き</sup>共生の意識づくり

<sup>き ょ う せ い し ゃ か い</sup>共生社会について<sup>ま な き か い</sup>学ぶ機会をつくったり、

<sup>き ょ う せ い し ゃ か い か ん が ひ ろ か つ ど う</sup>共生社会の考えを広める活動をします。

・<sup>じ ょ う ほう</sup>わかりやすい情報のやりとり

<sup>だ れ</sup>誰にでも <sup>こ と ば ほう ほう</sup>わかりやすい言葉や方法で、

<sup>し み ん し</sup>市民が知りたい<sup>じ ょ う ほう つ た</sup>情報を伝えます。

・<sup>く</sup>みんなが暮らしやすいまち

<sup>し み ん あ ん ぜん あ ん し ん く</sup>市民が安全で安心して暮らせるように、

たようせい かんが つか  
多様性を 考 えて、みんなが使いやすい

しせつ せいび つと  
施設などの整備に努めます。

ちいき ささ あ  
・ 地域の支え合い

しみん じぎょうしゃ たが きょうりよく れんけい  
市民や事業者と、お互いに協 力・連携し

ながら、より良い地域づくりに取り組みま  
す。

きょうせい すす し く  
・ 共生を進める仕組みづくり

きょうせいしゃかい じつげん め ざ  
みんなで 共生社会の実現を目指して、

ひつよう よ ほうほう かんが  
必要があるときには、より良い方法を 考  
えます。

ごうりてきはいりよ  
・合理的配慮

きほんてきしさく    つか    ごうりてきはいりよ  
基本的施策を使って、合理的配慮ができる  
ようにとくに取り組みます。

うらびょうし  
(裏表紙)

ごうりてきはいりよ  
○合理的配慮とは？

ごうりてきはいりよ    まいにち    せいかつ    こま  
合理的配慮とは、毎日の生活で困っている

ひと    ひつよう    たす    きくば  
ことがある人に必要な助けて、気配りや

てつだ    ひと    たいへん  
手伝いをする人には、あまり大変ではない

ことです。<sup>こま</sup>困っている人から<sup>ひと</sup>助けが<sup>たす</sup>必要だ<sup>ひつよう</sup>

と言われたときに、<sup>い</sup>気配りや<sup>きくば</sup>手伝い<sup>てつだ</sup>をする

ことが<sup>たいせつ</sup>大切です。

もし、<sup>たす</sup>助ける人<sup>ひと</sup>が<sup>たいへん</sup>大変なときは、どうして

<sup>たいへん</sup>大変なのかを<sup>せつめい</sup>説明します。そして、<sup>ほか</sup>他の

<sup>ほうほう</sup>方法を<sup>かんが</sup>考<sup>はな</sup>えたり、<sup>あ</sup>話し合<sup>あ</sup>ったりして、よい

<sup>ほうほう</sup>方法を<sup>いっしょ</sup>一緒に<sup>さが</sup>探<sup>さが</sup>しましょう。どんなことが

<sup>ごうりてきはいいりょ</sup>合理的配慮になるかは、<sup>ばしょ</sup>場所や<sup>ひと</sup>人によって

<sup>ちが</sup>違います。<sup>たいせつ</sup>大切なのは、<sup>あいて</sup>相手<sup>おも</sup>を思いやるや

<sup>きも</sup>さしい気持ち<sup>きも</sup>です。

たとえば、

・ <sup>がいこく</sup> <sup>ひと</sup> 外国人の人に.

<sup>むずか</sup> <sup>ことば</sup> <sup>つか</sup> 難しい言葉は使わないで、<sup>かんたん</sup> <sup>にほんご</sup> 簡単な日本語

<sup>つか</sup> を使います。

・ <sup>くるま</sup> <sup>ひと</sup> 車いすの人に.

<sup>の</sup> <sup>もの</sup> <sup>の</sup> 乗り物に乗るときに、<sup>てつだ</sup> 手伝います。

・ <sup>つえ</sup> <sup>ひと</sup> 杖をついた人に.

<sup>つえ</sup> <sup>た</sup> <sup>ばしょ</sup> <sup>つく</sup> 杖を立てる場所を 作ります。

・ <sup>しかくしょう</sup> <sup>ひと</sup> 視覚障がいのある人に.

<sup>ある</sup> <sup>はや</sup> <sup>あ</sup> 歩く速さを合わせて、<sup>まわ</sup> <sup>ようす</sup> <sup>つた</sup> 周りの様子を伝えな

ある  
がら歩きます。

さまざま たちば ひと  
・ 様々な立場の人に.

だれ ことば ほうほう ひつだん  
誰にでもわかりやすい言葉や方法（筆談、

よ あ しゅわ かくだい も じ にほんご  
読み上げ、手話、拡大文字、やさしい日本語、

コミュニケーションボードなど) を <sup>つか</sup>使います。

※合理的配慮の内容は、それぞれの場面に

よって<sup>ちが</sup>違います。また、<sup>れい</sup>例のほかにも

合理的配慮になるものがあります。

いまばりし し み ん かんきょうぶ し み ん かんきょうせいさくきよく  
今治市 市民環境部 市民環境政策局

し み ん さんかく か  
市民参画課

〒 7 9 4 - 8 5 1 1

えひめけんいまばりしべっくちょう ちょうめ  
愛媛県今治市別宮町 1 丁目 4 - 1

でんわばんごう  
電話番号：

0 8 9 8 - 3 2 - 5 2 0 0 (代表)<sup>だいひょう</sup>

ファックス<sup>ばんごう</sup>番号：

0 8 9 8 - 3 2 - 5 2 1 1 (代表)<sup>だいひょう</sup>

ねん がつはっこう  
2025年1月発行